

サイジナル

月刊
29-1・2
第431号

日本サイ科学会 平成 29 年 1 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 貴 ☎・FAX 052 (651) 3799	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒596-0807 大阪府岸和田市 東ヶ丘町808-153 河 野 明 夫 ☎ 072 (445) 7737・FAX 072 (445) 7796	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

年頭のご挨拶

会長 浪平 博人

新しい年を迎えるにあたり、
日本サイ科学会の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



年を重ねると身体能力及び記憶力の激減は否めません。しかしながら、全体を見まわし意味を敏感にくみ取る「気づき」とでもいう力は、年を経ての多くの経験があるがゆえに、むしろ高めて行くことが出来る。私は強く感じています。気づきを高めるにはやはり努力が要り、それは意識して見慣れたことに注意を払うことです。例えば、われわれはペンチで鉄

の線を切ります。いつも見慣れた事柄です。しかし、鉄の線を素手で引きちぎることに思いを致すと、どうしてペンチでは簡単に切れるのかに不思議さを感じます。その理由を考えれば、ペンチの歯の非常に狭い硬い部分に力が集中するゆえであることに気づきます。すなわち、集中が力の実態であるということです。この「気づき」をいろいろな場面に展開すると、新しい世界が開けます。

神は細部に宿るといいます。我々の周りには、目を凝らせば、不思議なことに満ちています。日々新たに生き生きとありたいものです。

皆さんのご活躍を期待します。

◆ ◆
※一月と三月の本部例会は休会となります。

一月と三月は分科会・気づき、三月は宇宙生命研究分科会が開催されます。

今月号の記事

- ◎ 年頭のご挨拶
- ◎ 二月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 関西サイ科学会一月、二月、三月研究集会のお知らせ
- ◎ 九州サイ科学会新年会お知らせ
- ◎ 中部サイ科学会三月研究集会のお知らせ
- ◎ 第3、4回分科会「気づき」の予告
- ◎ 第30回宇宙生命研究分科会のお知らせ
- ◎ 平成27年4月本部例会報告Ⅲ
- ◎ 平成27年5月本部例会報告Ⅰ
- ◎ 第四一〇回関西サイ科学会報告
- ◎ 関英男先生関連書籍の販売
- ◎ 本例会講演録音の販売
- ◎ 本例会ビデオ映像の販売
- ◎ 天から来るオーブ（たまゆら）と生体とのコンタクト

二月本部例会のお知らせ

私たちの存在の本質について、波動的、物質的視点から考える

講師 秋山 佳胤氏

私たちは、いまここに「在る」存在の主体であることは気づいていると思います。

ですが、私たちが「何者であるのか」「存在の本質は何か」といった点は、意外と明確ではありません。この問いは、私たち人類が誕生以来、求めてきたものかもしれませんし、今回、その答えを出しませんし、今回、その答えを出さずというものでもありませんが、自分なりの理解を深めることは日々の生活を有意義に幸多いものにするに役立つトピックとも思います。

当日はいくつかの視点を共有しながら、皆様と一緒に楽しく考え、感じたいと思っております。

※日本に不食の方がいるというお話は聞いておりましたが、2016年5月に幻冬舎から出版された「不食という生き方」で秋山佳胤氏は大いに注目を集められました。今回の御講演では不食という生き方に至った心と身体の経緯、そしてそこから生まれる確固とした世界観が語られると思いますので、会員の皆様は、ご友人・知人をお誘いして是非ご参加願います。

◎秋山佳胤氏のプロフィール

1992年東京工業大学理学部情報科学科卒業。1998年弁護士登録（東京弁護士会）、2008年ロータス法律特許事務所設立。知的財産権を専門とする。2012年医学博士号（代替医療）取得。

日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）・英国ホメオパシー医学協会（HMA）認定ホメオパス。2011、2012年熱帯雨林保護のミッションでアマゾンを訪問、地球サミット参加、熱帯雨林保護を目的とするNGOグリーンハート理事。2012、2013年、平和使節団としてパレスチナ、イスラエル訪問。コーヒー豆の焙煎歴約30年「ロータスコーヒー」として提供。（社）シンキング・リン協会理事、ライアー奏者。

著書に『誰とも争わない生き方』『不食という生き方』（幻冬舎）、「秋山佳胤のいいかげん人生術」（エムエム・ブックス）などがある。

日時 平成29年2月19日（日）
午後1時30分～4時30分
会場 北とびあ7階第2研修室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端（赤

羽寄り）の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

関西日本サイ科学会 一月研究集会のお知らせ

宗教と生命と科学の融合

講師 いよのいし氏

日時 平成29年1月21日（土）
午後1時30分～5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円
問合せ 072・445・7737

関西日本サイ科学会 二月研究集会のお知らせ

憑依診療の進歩、死霊、生霊、妖怪、宇宙霊

講師 橋本 和哉氏

日時 平成29年2月18日（土）
午後1時30分～5時
会場 大阪科学技術センター
七〇二号室
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韮公園内
会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円
問合せ 072・445・7737

関西日本サイ科学会 三月研究集会のお知らせ

アマゾン、インディオからの伝言

講師 南 研子氏

日時 平成29年3月18日(土)
午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇二号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 072・445・7737

九州日本サイ科学会
新年会のお知らせ

日時 平成29年1月29日(日)
午後12時～3時

会場 割烹 大判

(095・821・2626)

交通 長崎市役所、徒歩1分

会費 四〇〇〇円

予約等お問合せ
095・883・6048

中部日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成29年3月25日(土)
午後1時～5時

会場 博愛療院(ゆういん)
名古屋港区区名四町1-1-3

交通 地下鉄名港線「港区役所」
駅下車 徒歩15分

会費 一〇〇〇円(会員・一般)

※会員以外の方の参加も大歓迎
問合せ 052・651・3799

第3回 分科会気づき

日時 平成29年1月15日(日)
午後1時30分～4時

会場 北とびあ8階804A会議室
(東京都北区王子1・11・1)

交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 五〇〇円
一般 一〇〇〇円

講演 「創造について」
講師 浪平博人氏
(日本サイ科学会会長)

第4回 分科会気づき

日時 平成29年3月5日(日)
午後1時30分～4時

会場 北とびあ8階808会議室
(東京都北区王子1・11・1)

交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 五〇〇円
一般 一〇〇〇円

講演 「原理的視点について」
講師 浪平博人氏
(日本サイ科学会会長)

第30回宇宙生命研究分科会

第9回 ヒポクラテスシンポジウム

テーマ 重力と健康

日時 平成29年3月26日(日)
午前10時～午後5時30分

会場 品川健康センター3会議室

(品川区北品川3・11・22)
03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分
J R 京浜東北線大井町駅東口から東急バス「渋谷駅」行で「新馬場駅前」下車

会費 会員 一〇〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会)
一般 二〇〇〇円

・事前参加申し込みは不要です。
・当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

世話人 阿久津 淳

平成27年4月本部例会報告Ⅲ

「水からの伝言」と「新しい水の科学」
講師 根本 泰行氏

ベンベニスト博士のデジタル生物学
◎水は直接物質に触れなくても、物質の波動情報を含んだ電磁波を受信することによって、その物質の情報を記憶することができる。

◎水は記憶した情報を、送信することによって、外界に影響を及ぼすことができる。

◎送信、受信する情報は、パソコン上の音声ファイルとして、記録されている。すなわちデジタル情報であり、振動数は2万ヘルツ以下となる。

◎物質と物質との間には直接の接触がなくても、水が仲介することによって、物質が持っている波動が互いに影響を及ぼしあい、物質は遠隔的に相互作用することができる。

これらは、現代科学一般においてパラダイム・シフトを引き起こす可能性のある作業仮説である。

ベンベニスト博士の実験により、以下のことが示唆されます。

◎水は物質の情報を記憶することができる。

◎水は物質の情報を伝達することができる。

◎物質の情報は、低周波電磁場として、デジタル・ファイルに記録することができる。

これらの結果から、波動水を用いた波動カウンセリングが本物であることが示唆されます。

リュック・モンタニエ博士の研究

モンタニエ博士は、実はベンベニスト博士の研究を継いでおります。インターネットで調べても記録は見つかりませんでした。多分お二人は会われていると思います。ベンベニスト博士が工夫して作った、電磁波を伝達する実験系等を全部受け継いでいます。

モンタニエ博士は、エイズウイルス(HIVウイルス)を発見したことで、2008年にノーベル医学・生理学賞を受賞している、ある意味では本物中の本物の科学者です。

モンタニエ博士の実験を説明致します。既知のDNA断片(長さ104文字)の入った水溶液を10の6乗倍に希釈します。その希釈した水溶液(DNA無し)は、ベンベニスト博士の技法を踏襲した方法により、特殊な電磁波信号(EMS:周波数500~3000ヘルツ)を発するようになります。水から放射されている電磁波情報を、コイルを使って捕捉して増幅し、コンピュータを使って、デジタル・ファイルとして記録します。

「サイエンス」330巻2010年12月24日号に掲載されたモンタニエ博士の言葉

「私はホメオパシーに関して、すべて正しい、と言うことはできません。私が今言えることは、高度希釈の現象は正しいということですが。何かを高度希釈した場合、そこに何も無い、ということにはなりません。高度希釈水溶液には、元々の分子の構造をまねる水の構造体が含まれているのです。私たちはDNAを用いて、このことを発見しました。

しかしながら、ホメオパシーで使われている極めて高度な希釈倍率の元では、この現象を見出すことはできませんでした。10の18乗倍よりもさらに高度に希釈を進めると、(DNAに由来する)信号は失われました。この場合、希釈水溶液中には、DNAは1分子も残っていないと計算することができます。ちょうど10の18乗倍に希釈した時にも、1分子もDNAは残っていないと計算されるのですが、この場合にはまだ(DNAに由来する)信号を検出することができますのです。」

特殊な電磁波(EMS)を発す

るようになったDNA溶液の隣に、純水が入った試験管を置いておくと、18時間後には、その純水が同じ電磁波信号(EMS)を発するようになったのです。この現象が起こるためには、地球の共振周波数であるシューマン周波数の存在が必須であるとモンタニエ博士は言っております。なぜかと申しますと、この実験系全体を、18時間ミューメタルという電磁波を遮断するような金属の容器で覆いますと、この電磁波は出ません。今度ではミューメタルで外部の電磁波をすべて遮断した状態で、内部にシューマン周波数を発生する人工的な装置を入れておくと、この現象が起こるので。

PCR(ポリメラーゼ連鎖反応)というの、PCR反応液に少なくとも1分子のDNAが存在すると、そのDNAは何億倍にも増幅される現象です。PCR溶液に1分子もDNAが存在しない場合は、もちろんDNAはまったく増幅されない。

先ほどご紹介したDNA溶液の隣に置いて、同じ電磁波信号(EMS)を発するようになった純水にPCR反応液を入れると、なん

と元々のDNAと同じ長さ(104文字)のDNAができてしまったのです。その文字配列を調べると、104文字中102文字が同一であることが分かったのです。この違いは大きいかというと、体内で起こるDNAの複製でも、同じような確率でミスは起こります。モンタニエ博士はこの実験を22回繰り返して、同じ結果が得られたそうです。

モンタニエ博士の研究は、「DNAテレポーション」と呼ばれますが、その理由は右の実験だけでなく、次の実験によります。

モンタニエ博士はベンベニスト博士が行った実験をDNAについて、行っています。フランスにいるモンタニエ博士がDNA水溶液から発する電磁波を増幅した後、コンピュータにファイルとして記録します。そのファイルをインターネットを介して、イタリアにいる共同研究者に送信します。イタリアではそのファイルを音楽ソフトを使って再生します。末端がスピーカーではなくコイルによりDNA情報を電磁波信号(EMS)として純水に再生します。そこにPCR反応液を加えると、PCR

(ポリメラーゼ連鎖反応)により、元々のDNAと同じ配列のDNAが回収されたのです。通常では絶対により得ない現象です。

量子物理学者の故エミリオ・デル・ジュネイチェ博士は、水の中には情報を記憶する量子力学的なシステムがあって、「コヒーレント・ドメイン」という説を発表しておられます。



もう一つの実験ですが、特定のDNAに由来する電磁波信号(EMS)を発している水をヒト培養細胞の培養液に入れました。数日後、そのヒト培養細胞の内でDNAが合成されたのです。PCRのような人工的な反応を用いなくとも、生きている細胞の中で、電磁波情報からDNAの再物質化が起こることが示唆されました。

モンタニエ博士の実験により、以下のことが示唆されます。

◎DNAの情報は、電磁波信号として、水に転写することができる。
◎このようにして水に転写されたDNAの情報は、再物質化することができ。

これらの結果から、波動水を用いた波動カウンセリングが、本物であることが示唆されます。

まとめ1

◎21世紀に入ってから行われたポラック博士とモンタニエ博士の研究により、江本博士が直感的に得た以下の2つの結論が正しいことが強く示唆されている。

1. 感情や想念、祈りなどによって、水の結晶構造が変化することを示した「水からの伝言」が本物であること。
2. 波動水を用いた「波動カウンセリング」が本物であること。

まとめ2

1. ポラック博士の研究
◎この宇宙でもっとも根源的な自然現象

◎火(か)と水(み)の神仕組み(ひ・みつ)

2. モンタニエ博士の研究

◎宇宙でもっとも複雑な物質と考えられる遺伝物質DNAすらも水は記憶できる。

◎1つの生命体を持っている全遺伝情報(ゲノム)すらも水は記憶できる可能性がある。

◎地球型生命の情報は、彗星の水を通して、宇宙から水によってもたらされた、という可能性がある。

まとめ3

◎「水」は、水平方向においては、すべてのモノを他のすべてのモノと繋げ、垂直方向においては、あらゆる次元を他のすべての次元と繋げる「多次元媒体」である。

※垂直方向を考えれば、「水は神のメッセンジャーである」と言うこともできます。

※水平方向を考えれば、「私たちは、水を通してひとつにつながっている」(ドキュメンタリー映画「ウォーター」日本語版のキャッチコピー)と言うこともできます。(完了)



平成27年5月本例会報告Ⅰ

第1部

君を見放したりはしない―宇
宙特技点描画家―水華の世界
(ヒカルランド)

講師 水華氏

(特技点描画家)

今、点描画をさせていただいて
おります水華と申します。元々は
画家さんではなかった私が、なぜ
点描画を書くようになったか経緯
をお話しさせていただきます。

私は以前沖縄の方で、でダイビ
ングシヨップを約22年ほど経営さ
せていただいております。ある
ときに、ビジネスが当たったんで
すね。皆さん「青の洞窟」って聞い
たことはいませんか？ 今沖縄
では観光名所になっておりますけ
れど、実はそれを命名したのは僕
だったんですね。観光雑誌や広告
に載せましたら、いつきに観光客
が倍増しまして、それまでずっと
貧乏シヨップだったんですけれど、
年商が40倍くらい上がったんで
す。と同時に、ぼくの鼻も天狗の

ようにグングン伸びていきました。
天狗でございました。その天狗
の鼻も、いつまでも続きません。
ポキッと折られる日が来たのです。



と云うのは、簡単に申しますと、
詐欺に遭ったんですね。当然、財
産は全部失い、倒産、自己破産し
ました。今はこうしてしゃべって
いますけど、当時は変装して逃げ
回っております。ところが、逃
げてでも逃げても結局は逃げられな
いので、崖っぷちに立ったときに、
自分で責任を取ろう(死のう)と思
ったんですね。そのときにたまた
ま僕は神秘的な体験をしました。
それからブログも書き始めました。
最初の1週間は普通のブログでし
たが、1週間目から約20〜30人の

いろいろなキャラクターの声が開
こえてきました。それをブログに
書き始めました。それぞれが一つ
のシヨートストーリーになり、それ
らがあつという間に600ストリ
ーになりました。

そういう2つの出来事があつて、
次に知人から「絵のワークシヨッ
プに来ない？」と誘われました。
それが点描画だったんですけれど、
僕は絵はまったく興味はないし、
才能もないし、中学校以来描いた
こともなかったのです。ただ時間
だけは一杯あったので、誘われる
がままに行きました。当然描けな
いんですね。ところが、そのワーク
シヨップ参加3日後、また声が聞
こえてきました。

「お前も描いてみる。」というよ
うな声でしたが、「描けるわけな
いじゃん」と即答しました。それ
からしばらく経って、もう一回声
が入ってきました。「いいから描け
よ!」と。さすがにそのときには、
「分かりました!」ということ、
ボールペンと紙を買いに行きまし
た。最初に点をトンッと打ったの
が、2012年の6月であります。
最初の2ヶ月半から3ヶ月ぐら

いの中で、約60作品ぐらい出来上
がりました。朝から晩まで、12時
間〜15時間、体が疲弊して動かな
くなるまで描き続けました。これ
は、僕が描いたというよりも、そ
ういう映像を見せられて、それを
なるべく忠実にお出ししている
という感覚です。ですので、下書き
もありませんし、タイトルもつけ
ようがありません。一方的に見せ
られた映像をガーツと描いており
ますので、出来上がったら執着は
ありません。

その絵を携帯で撮って、東京の
知人に送ったら、彼がなぜか感動
して、「東京においでよ。」と言っ
てくれました。彼は、仙台のヨガ
の大きな大会の舞台美術をボラン
ティアでやっていました。そのと
きに「仙台も一緒に行こうよ!」
と言われました。僕も「行く」と
言って、彼との打合せのときにな
ぜか僕は、「片道の切符だけでい
いです」と言ったのです。

2人で仙台に行き、ボランティ
アをやりましたが、そのとき彼が
僕の作品をポストカードにしてく
れて、ブースに置いておりました。
そのとき、仙台の若者がそのポス
トカードを見て、「何すか、これ

は！」という感じで感動し、購入してくれました。連絡先も交換しました。その後東京に戻り、いろいろご縁が繋がりまして、仏教画家のいそはたよしのぶ先生が僕の絵に感動してくださって、浅草橋で2人展をやらせていただきました。

その個展の最中に、例の仙台の若者から連絡があつて、結婚式そのポストカードを配つたら、友人達が、葉書を見ただけでくらくらする、なんか泣きそうになる、眠くなる等、いろいろな反応があつたので、「この絵は何ですか？」という電話での質問がありました。電話ではいちいち説明できないので、「それなら仙台で個展をしようよ、せっかくだから？」と答えました。若者の知人宅の倉で個展を催しました。

その後、表参道の画廊でも個展をやらせてもらい、「そこに來られた女性のプロデューサーさんが「銀座で個展をやらない？」とオファーがありました。銀座での個展は1週間で100万円位かかるので、一瞬戸惑いましたが、「お金はいいよ」ということで、三越から歩いて3分位の1等地で個展をさせ

てもらいました。そこに池袋の画廊の方が來られて、こちらでも個展を開き、さらに仙台の宮城県美術館で初の原画展を催しました。

そんな感じでこれまで20回位あちこちで個展をさせていただきました。というところで、僕は2年8ヶ月位前に沖繩から上京しましたが、1度も沖繩に帰っておりません。その間、マンスリーマンション、ウイークリーマンションやホテルを転々としながら、その中でも作品が二十数点出来上がっております。

途中で絵の感じががらっと変わります。というのは、途中までは黒い特注した紙に0・5mmとか0・35mmのボールペンで点を打っていました。途中からは白いキャンパス生地に背景から埋めます。キャンパス生地に、黒いボールペンの点で全部埋めます。青↓黒↓青↓黒↓白↓青↓黒↓赤↓黒のよ

うに、7層から10層くらい埋めます。その上に本体は30層〜50層位点を重ねております。山ほど点を重ねています。そして今度は1000号(180センチ×160センチ位)の大作もできるようになり

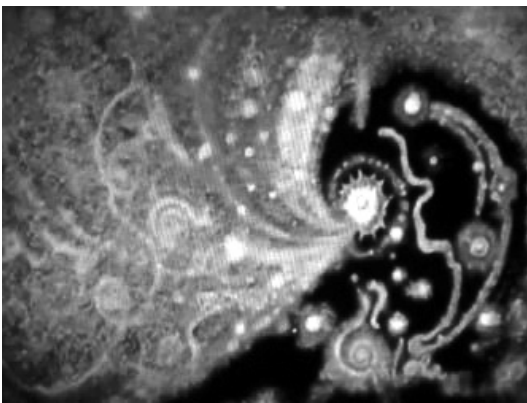
ました。

昨年の12月まで1年3ヶ月間位は、ずっと1000号ばかりを描かされておりました。1000号は全部で9枚できました。その間に1番大きい130号というのが出来上がりました。超強制労働なので、半年間で5度ぎっくり腰をやっています。その後1000号は卒業して、現在は6号サイズで描いております。身体はものすごく楽になり、1000号に注いでいたエネルギーが小さなサイズに集中して描けるようになりました。

仙台の宮城県美術館で原画展を

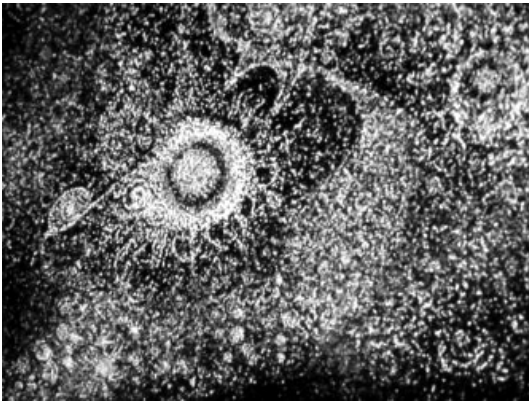


やることになったときに、いろいろなメッセージの中で、「もう、仙台から原画を放出しなさい」という言葉がありました。それまでは、画廊の方や画商の方から、「この絵は将来もつと価値が上がるから、原画は売らない方がよい」と言われました。個展の度に点描画の値段が上がっていき、東京である画商さんが1000号の原画について、7000万円という値段をつけてくださいました。メッセージは「原画を売りなさい、しかも半額以下で」と言われ、「はいはい、分かりました」と言うしかありません。



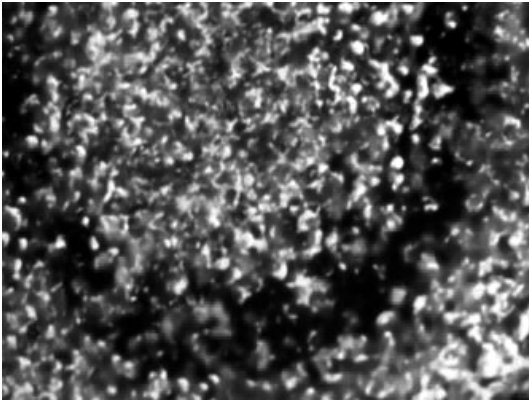
絵がほしい方には未来系の支払い方法の手段をとりました。月々払える額で払っていただければいいということですよ。

その後もいろいろな人々との出会いがあり、銀座の個展のチラシを見て、サロン・ブラン美術協会の白尾勇次会長から、お電話があり、お宅に呼ばれ、他の作品もお見せしましたら、感動してくださって、「うちの会にひとつ作品を出して欲しくないかね」ということで、出しましたら、賞を戴きました。そのときに、会長さんから、「うちの会員にならないかね」と言われ、



言われるがままに会員になりました。会員になって3か月後に、上野美術館に100号の作品を出しましたら、今度は会長、副会長が来られて、「委員になりませんか」と言われ、お受け致しました。

後で調べましたら、普通絵の世界では、一般参加で実力を認められるまでに何年かかかり、準会員、会員になるまで、10年から12年位、委員になるまでは、15年とか20年とか、かかるそうです。つまり何を言いたいかというと、僕が最初にお話ししました、神秘的な体験というのが、後々に活かされるの



です。

簡単に言いますと、「お任せする」という感じですね。結果にフォーカスしないで、過程をワクワクして楽しむ」みたいな感じですよ。そうしますと、結果ワクワクの結果がどんどん起こってきました。それは僕とか一般の常識の予想を遙かに超えた感じで、加速して行っているかな、という感じですよ。

昨年、(株)ヒカルランドの社長さんとの出会いもあり、著書『君を見放したりはしない 宇宙アーテイスト神技点描画家「水華」の世界』が出版されました。



※この後、著書紹介と点描画のDVDが紹介される。

ヒカルランド石井社長の言葉「この本は点描画はもちろん、文章もただ者ではない。」



第四一〇回関西日本サイ 科学会研究集会報告

死ぬべき人間から死なない人間へ

講師 梶原 和義氏

とき 平成28年7月16日

ところ 大阪科学技術センター

梶原和義氏プロフィール

名古屋市に生まれる。長年、般若心経と聖書の研究に没頭。

十三年間、都市銀行に勤務後、退職して事業を始める。

現代文明の根源を探るため、ユダヤ人と親交あり。

「永遠の命」についての講話活動を関西で行っている。

聖書研究会主幹の故村岡太三郎先生に師事し、般若心経と聖書の根本思想について、多くの事を学ぶ。又、村岡太三郎先生と共に「般若心経と聖書」というテーマで、全国での講演活動に参加した。

人間は絶対に死ぬとわかっていいますが、他方で絶対に死にたくないと思っただけです。これは一体どういう事でしょうか？

これは車を運転する場合に、アクセルをいっぱい踏んでいると同時に、ブレーキをいっぱい踏んでいるようなことになるのです。アクセルをいっぱい踏んで、同時にブレーキをいっぱい踏んだら、どうなるのでしょうか？

人間はこれと同じことをしているのです。だから人間生活には様々な苦しみ、悲しみ、悩み、矛盾、争い、喧嘩、詐欺、強盗、傷害、汚職、失業、倒産、病気が絶えないのです。

人間は死ぬために生まれたのではない。誰でも、生まれた時には死なない命で生まれたのです。ところが、3歳頃に母親が、自分で

食べなさい、自分で歩きなさい、自分で着なさいと、盛んに自分で、自分でと言いました。その結果自分がいるということ、確信してしまっただけです。そうして、目に見えるものが絶対にあると思っただけです。これがいわゆる物心です。

物心が絶対である。物心が自分であると思っただけです。これが、人間が死んでいく根本原因です。



関英男先生が、「日本サイ科学会」を設立されました。サイイと言っただけで、ギリシャ語の魂の頭文字です。魂が分かっているのです。世界中の人に魂と云うことが、全く分かっていません。日本ができてから、魂の実体を究明した人が

いないのです。私は根気よく探究した結果、魂の実体が分かりました。実は、魂が死なない命の実体です。魂の実体が分かれば、死ななくてもよいのです。関英男先生はこの事が直感的に分かっていたでしょう。だから「日本サイ科学会」を設立されたのだと思います。

残念ですが、関先生は魂の実体をはっきり究明される前に、お亡くなりになりました。はっきり究明されるための時間がなかったからでしょう。幸いにして、私にはそれをはっきり究明する時間と手段がありましたので、それを究明することができました。本日、これを皆さんにはっきり申し上げることができるとは思います。

最近、時々起こっている事件ですが、東南アジアに旅行中に、知らない間に、スーツケースの中に麻薬が入った袋を入れたという事件がありました。帰りの空港で税関検査を受けたところ、麻薬が入っている袋が見つかったので。その人は、全く知りません。全く身に覚えがありませんと執拗に、執拗に言ったのですが、聞き入れられませんでした。

とうとう裁判になり、死刑の判決が下ったのです。これは実際に起こった事件です。

人間は死にたくないのに死んでいかなければならない。このことについて、ロシアの文豪、ドストエフスキーは、すべての人間は、無期懲役刑になっていると言っているのです。刑務所には入っていませんが、絶対に死んでしまうというものは、無期懲役刑に処せられた人と同じ状態に置かれているのです。

このことを、皆さんはおかしいと思わないのでしょうか？ 皆さんは、無期懲役刑になるような悪いことをしたのでしょうか？ そうではないでしょうか。ですから、私はこれは絶対に冤罪だと思っております。

皆さんは、袴田事件をご存知でしょうか。ある会社の従業員であった袴田巖さんが、その会社の専務家族の4人が殺害された事件の犯人にされてしまったのです。袴田さんは全く身に覚えがないと強く主張したのですが、聞き入れ

られずに、死刑の判決を受けたのです。

袴田さんはその事件に全く関与していませんから、私はやっていないということを経年間言い続けたのです。そうしてやっと再審が開始されました、79歳になって無罪が確定して、釈放されたのです。

皆さんは、無期懲役刑になるような犯罪行為をしたのでしょうか？ 絶対にしていません。これは明らかに冤罪です。これを正々堂々と訴えたらいいのです。

入れられた麻薬は私の物ではない。入れられた麻薬とは何か。物心です。物心とは何か？ 自我意識と現象意識です。ところが、自我意識も現象意識も、自分のものではない。両親、世間が勝手に私たちに押し込んだのです。自我意識も現象意識も、自分のものではない。固有名詞の自分、世間の常識によって生きている自分は本当の自分ではないと、強く主張したらしいのです。

生まれたばかりの自分、物心がついていない自分は、死なない自

分です。これは宇宙の命によって生まれ生きて、宇宙の命によって生かされている自分です。宇宙の命によって生かされている者は、絶対に死なないのです。宇宙の命は絶対に死にませんから、宇宙の命によって生かされている赤ん坊も、死なないのです。

赤ん坊の時に帰ったらよいのです。物心がついた自分を捨てて、魂の自分に帰ったらいいのです。そうしたら、人間は死ななくなるのです。

今、全世界に73億の人間がいると、言われています。私は世界一周旅行を2回しました。アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ、南米、中南米、北アメリカ、オセアニアの国々を回ってきました。そこではつきり分かったことは、全世界の人間は、同じ五官、同じ生理機能、心理機能を持っているということでした。

世界中の信号機は、日本と同じでした。全ての車は赤でとまり、青でスタートしました。ある国の人で、赤が青く見えて、青が赤く見える人がいましたら、たちまち

事故が起きるでしょう。全ての人が、赤が赤く見えて、青が青く見えるから、信号系統がスムーズに運用されているのです。世界中の人間の生理機能が同じですから、日本人が旅行中に病気になるれば、どの国の病院でも治療してもらえるのです。もし日本人の生理機能が他の国の人間の生理機能と違っていたら、日本人は日本に帰って治療を受けないといけないのです。

世界中のどの国で発明された薬でも、日本で使えます。また、日本で発明された薬は、世界中どこでも使えるのです。これは世界中の人間の生理機能は同じであることを意味しているのです。

世界中の人間の生理機能、心理機能、五官は同じです。実は、聖書はこれをイエスと言っているのです。これが聖書の秘密なのです。が、イエスとはアラミ語でイエー・ズー・スーと言いまして、インマヌエル、神が共にいるという意味です。実は、心理機能、生理機能、五官は、神の形に作られたのであって、神自身が心理機能、生理機

能、五官に化けているのです。これが魂の実体です。だから、魂の実体が分かれば絶対に死なないのです。神、宇宙の命は絶対に死にませんから、魂は絶対に死なないのです。

イエスは言っています。「生きて私を信じる者は、絶対に死なない」イエスが死なない命を持っていましたので、十字架につけられて殺されましたが、3日目に復活したのです。そして驚くべきことに、全ての人の死ぬべき命を、死なない命に変えてしまったのです。その証拠が3つあるのです。日曜日と西暦紀元、クリスマスです。これが全ての人間の命が死なない命になっていることを、証明しているのです。

人間は不可能なことは考えられないのです。かつて空を飛んでみたいという人がありました。そう考えた人は、それほど多くなかったでしょう。それでも、飛行機になって実現しているのです。毎日5000機以上の飛行機が、世界中に飛び回っています。(13頁に続く)

故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3,000 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL)	190 円	(80 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げしました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から 2 週間以内に発送致します。

※1 種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

< お問い合わせ >

日本サイ科学会事務局 〒 271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町 41-506

FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分1,500円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文はメールまたはFAXで、下記のメールアドレス(またはFAX番号)に、「201※年〇月〇〇〇〇氏講演録音購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp FAX 047-330-4091

2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」

2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」

2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」

2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」

2011/ 5/14 赤松 瞳氏「最新脳科学と透視能力」

2011/ 6/12 井出 治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」

2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」

2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11 新文明の幕開け～日本人の使命～」

2011/10/ 9 創立35周年記念大会シンポジウムテーマ「パワースポット」

2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」

2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」

2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」

2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」

川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」

2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」

2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術『強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～』

2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」

2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」

2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」

2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の存在と能力」

2013/ 1/12 志賀一雅氏「 α 波のコヒーレンシーについて」

2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」

私は以前、ポケットに入るような小型の機械によって何時でも、誰とも話が出来たら、いいなあと思いました。この希望が、見事に携帯電話になって実現しました。月に行ってみようというところでもない願望が、アポロ宇宙船によって実現したのです。

人間は不可能なことは考えません。可能性があるから考えるのです。

空を飛んでみたい。どこからでも、誰とも話がしたいと思った人はそれほど多くなかったでしょう。それでも実現したのです。ところが、死にたくないと思ってる人は全世界73億人の72億人以上でしょう。これほど多くの人が熱望しているなら、必ず実現すると思っただけです。そうして、辛抱強く探究した結果、とうとう死なない命を見つけたのです。皆さんも、ぜひ、死なない命を見つけていただきたいと思います。

かつて、コペルニクスが、地球は太陽の周りを回っていると初めて言いました。地動説を唱えたのです。そのために、彼は捕ま

られて、火炙りの刑に処せられて死刑になったのです。それまで人々は、太陽が地球の周りを回っている。いわゆる天動説を固く信じていたのです。コペルニクスが従来の人々の考えと正反対のことを言い出したので、神を冒瀆するものとして、死刑になったのです。

ところが、現在はどうでしょうか？ 世界中のほとんどの人が、地動説を信じているのです。地球が太陽の周りを回っているのを実際に見た事がないのに、ほとんど人が地動説を信じているのです。私はこれと同じことが実現できると、確信しています。72億人以上の人が死にたくない願っているからです。この願いは必ず実現すると確信しているのです。

☆ ☆
 当日の参加者は会員11名、非会員11名、計22名であった。

（関西日本サイ科学会会長

河野 明夫）

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル（約3時間）を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1本につき 二五〇〇円（送料含む）

※御注文はメールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス（またはFAX番号）に、「2013年〇月〇〇〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psi.mail-box.nc.jp
 FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。

以下のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会

講師 大野百合子氏

「宇宙図書館（アカシックレコード）から見た世界の仕組みと私たち—あなたは誰なのか—」

◎2013年5月本部例会

講師 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」

◎2013年6月本部例会

講師 松原秀樹氏

「アレギーを治す秘訣」

◎2013年7月本部例会

講師 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」

◎2013年9月本部例会

講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーロー ジョン・オブ・ゴッド」

◎2013年10月第23回全国大会

シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」

◎2013年11月本部例会

講師 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究—超能力研究の最前線—」

◎2014年1月本部例会

講師 小川博章氏

「魂の発見」

◎2014年4月本部例会

講師 西川真知子氏

クラから、イメージを活用して「気、プラナ」を(射出)放出させて、オーブとの同調、または情報交換を行うことになる。イメージには「意念、図形、色、音、光等」があり、テレパシーを併用する。この時、生体内を流れる電流値が高いと、射出(放出)も強くなるので、この面での配慮が必要になる。また同時に波動を高める(高次元に上昇させる)ことが望まれている。

オーブ(たまゆら)は、大気中を、気圧や電界の影響を受けながら、浮遊しながら、重力に

よって降りてくる。空気中には様々な微小浮遊物(埃、塵芥、エアゾール、水蒸気など)が存在していて、多くのものは帯電している。それらの中には図1のPSI-spin群の集団も含まれている。地上にいる撮影者から射出(放出)される「気(サイ)」と同種のPSI-spin群集団を持つもののみが、オーブ(たまゆら)として写真に写り込む事になるのであろう。

(紙数の関係から、図1は、省略させていただきます)

- 「生命の智恵 アーユルヴェーダ
―アーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ―」
◎2014年5月本部例会
講師 岩根和郎氏
- 「般若心経とサイ科学」
◎2014年6月本部例会
講師 秦西平氏
- 「気超科学と宇宙生命哲学
新病気学」
◎2014年7月本部例会
講師 小林信正氏
- 「ラップ現象の究明―オーブとの
関連性について―」
◎2014年9月本部例会
講師 石川允朗氏
- 「死後の世界と輪廻転生について
の一考察」
◎2014年10月第24回全国大会
シンポジウムテーマ
- 「サイと天変地異」
◎2014年11月本部例会
講師 坂井洋一氏
- 「日本人は知らない―縄文日本の
驚くべき真実―」
◎2015年1月本部例会
講師 英国からの特別ゲスト
THE SOURCE CODES
ソースコードは何ですか?」
- ◎2015年4月本部例会
講師 根本泰行氏
- 「水からの伝言」と「新しい水の科
学」
◎2015年5月本部例会
講師 水華氏「君を見放した
りはしない―宇宙神技点描画家―
水華の世界(ヒカルランド)」
講師 上部一馬氏
- 「巨大地震を1週間前につかめ」
◎2015年6月本部例会
講師 末武信宏氏
- 「先端アンチエイジング医療&超
人を生む自律神経の開発」
◎2015年7月本部例会
講師 飛沢誠一氏
- 「見えない世界の情報を如何に活
用するか?」
◎2015年9月本部例会
講師 山田欽子氏
- 「あなたの人生が楽しくなる
インド占星術」
◎2015年10月第25回全国大会
シンポジウムテーマ
- 「あの世と多次元世界」
◎2015年11月本部例会
講師 坪井香讓氏
- 「野性と霊性・ヒトの原点
『直立二足歩行』から問う」
- ◎2016年1月本部例会
講師 佐々木茂美様
- 講師 佐藤禎花氏
- 講師 苗鉄軍氏
- 「オーブ研究の現状報告」
◎2016年2月本部例会
講師 正木晃氏
- 「靈魂観の現在」
◎2016年4月本部例会
講師 沖田祐美子氏
- 「神々の謎」
◎2016年5月本部例会
講師 河野貴美子氏
- 「意識、無意識、そして潜在能力
を脳の観点からどこまで解明でき
るか?」
◎2016年6月本部例会
講師 エスパール・小林氏
- 「運」がつく人、「霊」が憑く人」
◎2016年9月本部例会
講師 志賀一雅氏
- 「7.8Hzのスローα波の驚異」
◎2016年10月
創立40周年記念大会
- シンポジウムテーマ「地球外知
的生命・UFOと宇宙人(宇宙
人サミット)」
◎2016年12月本部例会
講師 藤枝伸二氏
- 「藤枝流健康増進法」

外線、電波の一部、である事が知られている。他方、地表面は(-)に帯電(静電気)しており、上空にある電離層下部との間にある大気空間は、約30万Vと言われる大気電界(地球コンデンサー)につつまれている。以上の諸障害層を突き抜けて、どのような状態で、オーブ(たまゆら)が、我々のカメラに写る事に成るのであろうか、オーブの実体は何か？

さきに、オーブ(たまゆら)のモデル(図1、仮定)を別報にしめした。微細身素粒子、陰・陽電子(または陰・陽イオン)が「巴型の組合」状に形成されており、全体としてはほぼ中和状態になっている。つまり、それぞれは陰・陽のPSI-spin群の集合体である。なお、微細身素粒子とは、オーラ(プラナ、サイ、気)のことであり、体内を流れる「気」が体外に射出されて、卵球状に身体を取り巻く(オーラ状に、生命エネルギー)波動で、東洋医学で慣用されている生命エネルギーの実体のことである。現在、この一部は指尖脈波として実測されている(別報参照：(株)TAOS社、BACS)。

なお、オーラは多重多層の「たまねぎ」の皮状(7~9層)の階層構造になっており、実務家・理論家の諸説を総合した推定値として $10^{10} \sim 10^{80}$ Hz内に、階段状に、存在している(例、関英男、グラビトニックス参照)、(次元が上昇する)。さらに、オーラは人の指紋と同様な個性(個別化)をもっていて、高周波数(短波長)になる程、より高級霊(宇宙神)オーラに近づいてゆく、またオーブの実体(図1)は肉体からは離れて、空間に存在する事も可能であり、人の死後も継続して存在し続けている、と判断している。しかし、残念ではあるが、現代科学では実測困難である。図1のオーブモデルのうち、割合に短波長(高周波数)で、割合にパワーの強い微細身素粒子が牽引役となって、各種のサイ(たまゆら)群またはオーブ(陰・陽プラズマ群、PSI-spin対群)(図1参照)を、マクロ・PKを介して、地上に導き、写真に写るのであろう。

話を地上に戻す。詳細な機構は不明であるが、オーブ(たまゆら)は地上付近の大気中の近赤外線域に潜んでおり(活性化エネルギー1.38eV)、またオーブ(たまゆら)は水との親和力が高いので、別報の考察によると、水を電離

して得られるH(+)イオンの近赤外線域のエネルギーが主要な働きをしている様子である。以上から、推定ではあるが、オーブ(たまゆら)が宇宙から地上にやってくる可能性は高いといえる。つまり、特殊オーブ(たまゆら)は、宇宙神の投影であるかも知れない。

3. 生体とオーブ(たまゆら)のコンタクト

上の(1)として、オーブと生体(意識)とのコンタクトを、地上にいる人間側からみる場合について検討する。実験結果を見ると、意識と体外にあるオーブとは情報交換(意識と体外の物質との間)をしているので、これはマクロPKの一種であると言えよう。例えば「たいこ」を叩いても「TVの画面」は乱れない。同種の間にも、同調・共鳴、共振がおきてくる。という訳で、オーブ(たまゆら)と同種のを、生体から放出させる必要がある。図1のモデルにおいて、PSI-spin群に関係が深いものは、素粒子(光)と体内を流れる気(サイ、オーラ、プラナ)である。東洋医学によると、皮膚の表面には7個所のエネルギー・センターがあり、これをチャクラと呼んでいる。

チャクラにはエネルギーの変換(物理・意識とサイ、ミクロとマクロ等)、伝達、放出等の機能がある。下から(1)根チャクラ、(2)脾臓チャクラ、(3)臍チャクラ、(4)心臓チャクラ、(5)咽喉チャクラ、(6)眉間チャクラ、(7)王冠チャクラ、と呼んでいる。つまり、次第に次元が上昇し(三次元から上に)、波動の周波数が増加し、物質は軽くなる(オーラの多重多層構造の項、参照)。(1)、(2)のチャクラは波動でいえば周波数が低く、波長は大である。これらは、エーテル層、アストラル層を意味しており、三次元世界に関係が深い。(3)はマニブラ・チャクラとも云い、ESP(感覚外知覚)を支配している。(4)はアナハタ・チャクラとも云い、PK(念力)能力に関係が深いといわれている。瞑想などの訓練を積むことによって、自らの意識と波動を変える事が出来(ライト・ボディ化)、次第に次元の上昇が可能になってくる。訓練は、呼吸法を用いて自律神経をコントロールする事からはじまる。例えば、脳波をβ波、α波、θ波、δ波、へと次第に下げて、θ波に近づける。つまり意識を変容させて変性意識状態(ASC)付近に導く。そして、(4)のチャ



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://psi-science.sakura.ne.jp> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

天から来るオーブ(たまゆら)と生体とのコンタクト

佐々木 茂美

1. はしがき

実験結果から推定すると、(1) オーブ(たまゆら)は、生体内を流れる「気」に同調して、出現してくる。(2) オーブ(たまゆら)は巨視的な物質でありながら同時に素粒子類似の性質を持っている(別報参照)。他方、(3) オーブは、地球外の知的生命体ならびに宇宙神の投影であるという主張がある。しかし、これらを総合的に説明する試みや機構(モデル)は存在していない様子である。つまり、これらの理由は不明のままである。そこで今回は、(3)と(1)を検討する事にした。つまり、オーブの総合的な機能解明の為の初歩的な第一段階の検討を、本稿で試みることにする。

2. 天から来るオーブ(たまゆら)

上の(3)を検討する。静的ならびに動的オーブの実測・実験結果によると、望遠カメラをズームに拡大して観測・撮影できる極小粒の芽オーブには赤、乳白色、キイロなどの色付きオーブの場合が多い。他方、「ニュートン(Newton)」誌には、それらに類似した天体(星)が数多く紹介されている。一見すると、両者の区別が出来ず、オーブは天体の一種かなと間違ってしまう(思わせる)程である。しかし星の運行には季節や時間、大きさ形状、動く速度などに一定の規則性があるので、オーブとは別物であることはすぐ解る。本稿で扱うオーブは、地表面上の近くで観測されており、環境や意識的な諸条件等を注意深く整える事によって撮影が可能になってくる。

宇宙は真空に満たされており、その中にある物質は総てがプラズマの状態で存在している。

また宇宙空間では、高エネルギーの宇宙線が飛び交っており、その主成分は陽子や中性子などの原子核成分であるという。はじめに、オーブがプラズマとして、または宇宙線(放射線、波動)として、地球にやってくる場合を想定して検討する。我々は、地表上の3次元(時間を入れて4次元)空間で、空気層に包まれて、毎日の生活を営んでいる。

そこで生活するのに最も大きな影響を持っている「太陽」から下の宇宙空間を検討・考察の対象にする。巨視的に見ると、地球には、太陽から高温で電離した太陽風(フレアー)が吹き付けてくるが、地球は一個の巨大な磁石なので、この磁気作用によって上部空間に地球磁気圏を幾重にも形成して、有害なフレアー(太陽風、荷電粒子)の進入を防いでいる。

つぎに、地球磁気圏よりも遙か下の、または地球の上空(高さ約200~400km)には電離層(紫外線の電離作用による電子)、さらに100kmにも電離層があり、宇宙からくる様々な有害なガンマ線、X線等の電気磁気波を吸収、反射し、一部は通過させている。また、地球上空にはオゾン層(高さ約20km、酸素)が有り、宇宙からくる有害な紫外線を吸収している。このように、宇宙ならびに太陽は、有害な宇宙線(プラズマ)を数多く放出しているが、同時に、有用な宇宙線も放出している。太陽は生命の母であり、地上の総ての「いきもの」を育てているエネルギー源である。太陽光は、地球をとりまく磁気圏(地球磁場)を突き抜け、さらに電離層やオゾン層を突き抜けて地上に届いている。この有用な電磁気波は、主として可視光、近赤